



# 東日本大震災 山梨県緊急消防援助隊活動報告

本年3月11日、東日本大震災の発生直後、総務省消防庁から応援要請を受け、東山梨消防本部を含む山梨県緊急消防援助隊が被災地に出動しました。

活動は、3月11日から4月3日までの24日間、延べ148隊523名の消防隊員が救助活動に当たり、183名（遺体16名）を救出、67名を救急搬送、さらに県消防防災ヘリコプター「あかふじ」が62名を救出しました。

また、被災地での活動状況等について、活動に従事した消防隊員の代表12名が横内正明山梨県知事と「東日本大震災の被災地における活動状況と本県の防災体制の見直し」を対話テーマとして、意見交換を行いました。

その概要につきましては、東山梨消防本部のホームページから「県政ひざづめ談議」をご覧ください。



## 救急救命士紹介



溝口 哲平 消防士

本年四月一日付で、消防士を拝命後、六ヶ月間の初任教育を修了し、救命救急の負託に出来るべく、日々頑張っています。  
「先輩救命士と協力し、これまでに習得した知識と技術を実際の現場に役立て、精一杯頑張ります。」と意気込みを語ってくれました。

溝口消防士は、医療系の大学を卒業と同時に、救命救急士の国家試験に合格しました。



武井 国男 消防士長

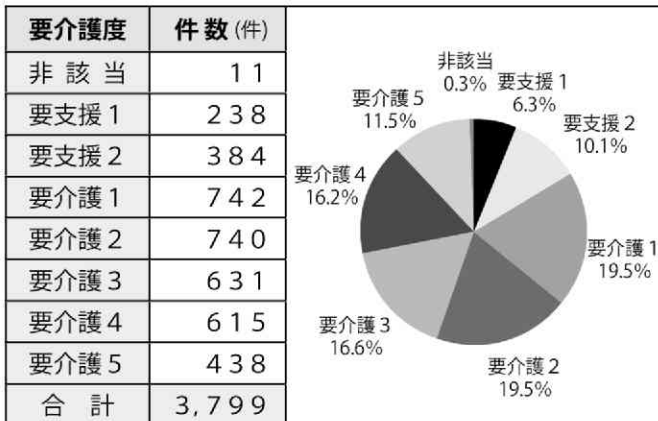
試験に合格しました。「この研修で多くの知識、技術の習得と経験を積むことができました。これからも、より一層地域住民に信頼される救急隊員として、優しく親切をモットーに頑張ります。」と抱負を語ってくれました。

武井消防士長は、救急救命東京研修所で七ヶ月間の研修を終え、救急救命士の国家試験に合格しました。

## 審査判定結果について

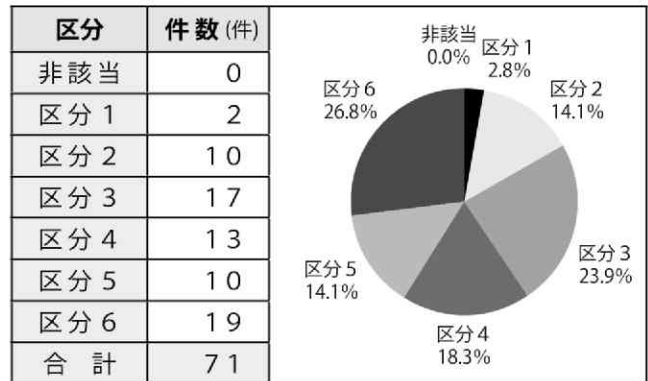
平成22年度に行われた介護認定審査会と障害者自立支援認定審査会の審査判定結果は、次のとおりとなりました。

### 介護認定審査会



(平成22年4月1日～平成23年3月31日まで)

### 障害者自立支援認定審査会



(平成22年4月1日～平成23年3月31日まで)

高齢化の進展により、要介護認定を必要とする方が年々増えています。高齢者の方や障害をもった方が元気に暮らせるよう、地域での支えあいを心がけてください。

